



プログラム

Opening Remarks 8:55～9:00 第1会場

山口 博樹 (日本医科大学 血液内科)

モーニングセミナー 1 9:00～9:50 第1会場

座長：赤羽 大悟 (東京医科大学 血液内科学分野)

「これからの *FLT3* 遺伝子変異陽性 AML 治療戦略」

演者：石川 裕一 (名古屋大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学)

共催：アステラス製薬株式会社

急性骨髄性白血病 1 10:00～10:50 第1会場

座長：遠矢 嵩 (獨協医科大学 内科学 (血液・腫瘍))

1. 急性前骨髄球性白血病を発症した血液透析患者に ATRA 併用化学療法を行い血液学的完全寛解を得られた 1 例

戸塚 紀帆 (慶應義塾大学医学部 血液内科)

2. 21 番染色体上 *RUNX1* の切断点が通常とは異なる *RUNX1::RUNX1T1* 陽性 AML の 1 例

外山 夢乃 (長岡赤十字病院 血液内科)

3. G 群溶血性連鎖球菌の敗血症治療後に化学療法を行わず細胞遺伝学的完全寛解を得た急性骨髄性白血病の 1 例

瀬戸 爽太郎 (東京大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科)

4. 上咽頭髄外病変を伴う再発急性骨髄性白血病に対し、ベネトクラクス・アザシチジン療法が有効であった 1 例

山下 大翔 (国立病院機構東京医療センター 血液内科)

5. Aza/Ven 療法が奏効し、初発時の上咽頭骨髄肉腫による滲出性中耳炎が改善した急性骨髄性白血病の 1 例

武田 直久 (東京大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科)

急性骨髄性白血病 2 10:50～11:40 第1会場

座長：本村 小百合 (東京都立多摩北部医療センター 血液内科)

6. 治療開始の判断に苦慮した急性前骨髄球性白血病 (APL) の 1 例

加藤 成顕 (東京都済生会中央病院 血液内科)

7. 造血器遺伝子パネル検査が診断と予後予測に有用であった急性骨髄性白血病の 1 例

西村 明洋 (東海大学医学部附属病院 臨床研修部)

8. 造血器腫瘍遺伝子パネル検査が診断および移植適応判断に有用であった急性リンパ性白血病の1例

宮本 和泉 (千葉大学医学部附属病院 血液内科)

9. 多発性骨髄腫の寛解期に Ph 陽性急性リンパ性白血病を発症した1例

津島 隆史 (成田赤十字病院 血液腫瘍科)

10. 多発リンパ節腫大を伴う minor BCR-ABL1 陽性急性骨髄性白血病の1例

角野 花音 (獨協医科大学病院 臨床研修センター)

ランチョンセミナー 1 11:50 ~ 12:40

第1会場

座長：神田 善伸 (自治医科大学医学部内科学講座 血液学部門)

「CPX-351 を用いた AML 治療戦略」

演者：吉本 五一 (佐賀県医療センター好生館 血液内科)

共催：日本新薬株式会社

特別講演 13:10 ~ 14:00

第1会場

座長：猪口 孝一 (社会福祉法人仁生社かつしか江戸川病院)

「急性骨髄性白血病の研究と臨床の現在地—何を問い、何を明らかにしてきたか、そして次に何をすべきか—」

演者：山口 博樹 (日本医科大学大学院医学研究科 血液内科学分野)

共催：アッヴィ合同会社

臨床研究支援 14:10 ~ 15:10

第1会場

座長：加藤 元博 (東京大学 小児科)

11. 骨髄異形成症候群における輸血後鉄過剰に基づく造血治療抵抗性機序の解明と克服

原 隆二郎 (東海大学医学部内科学系 血液・腫瘍内科学)

12. 慢性活動性 EB ウイルス病に対するアテムツズマブの有効性と安全性の検討

大島 久美 (聖マリアンナ医科大学病院 血液内科)

座長：桐戸 敬太 (山梨大学医学部 血液・腫瘍内科)

13. 低用量アテムツズマブを用いた HLA 不適合ハプロ移植は標準リスク造血器腫瘍に対して有用である

賀古 真一 (自治医科大学附属さいたま医療センター 血液科)

14. 超低用量 ATG を用いた HLA 8/8 アリル一致同種末梢血幹細胞移植の多施設共同第 II 相試験

塚本 祥吉 (千葉大学医学部附属病院 血液内科/造血細胞移植センター)

座長：白根 脩一（順天堂大学内科学 血液学講座）

15. 造血器腫瘍遺伝子パネル検査で慢性好中球性白血病の診断に至った1例

宮木 陽輔（川崎市立川崎病院）

16. 遺伝子解析により診断に至った慢性好中球性白血病

小川 大介（藤沢市民病院 血液内科）

17. 演題取り下げ

18. TKI 治療中に KMT2A 融合遺伝子を獲得し急性転化した慢性骨髄性白血病の1例

大石 ひより（多摩総合医療センター）

19. CML-BC と AML with BCR::ABL transfusion の鑑別を要した1例

高倉 大暉（千葉市立青葉病院 血液内科）

座長：〔講演1〕高田 覚（群馬県済生会前橋病院）

座長：〔講演2〕市川 幹（NTT 東日本関東病院）

〔講演1〕「見逃せない IDH1：検査一つで変わる AML の予後・薬剤選択・未来」

〔講演2〕「分化誘導療法メカニズムと IDH1 阻害薬が示す新たな治療軸」

演者：〔講演1〕永田 安伸（日本医科大学付属病院）

演者：〔講演2〕前田 智也（埼玉医科大学国際医療センター）

共催：日本セルヴィエ株式会社

座長：高橋 宏通（日本大学医学部内科学系 血液膠原病内学分野）

20. 周産期発症慢性骨髄性白血病のインターフェロン α による管理

米野 友啓（自治医科大学附属さいたま医療センター）

21. 発症時より両眼視力低下を認めた慢性骨髄性白血病

守田 遼平（東京慈恵会医科大学附属第三病院 腫瘍・血液内科）

22. 第二世代チロシンキナーゼ阻害薬（TKI）不耐容で低用量アシミニブが安全かつ有効であった CML の1例

村上 肇（東京科学大学病院 血液内科）

23. JAK2 変異陽性本態性血小板血症後に BCR::ABL1 陽性慢性骨髄性白血病を合併した1例

芳野 祐一（横浜市立大学附属病院 血液・リウマチ・感染症内科）

24. T315I 変異を有する再発リンパ芽球性急性転化期の慢性骨髄性白血病治療の新たな試み
小幡 篤史 (獨協医科大学埼玉医療センター 糖尿病内分泌・血液内科)

モーニングセミナー 2

9:00 ~ 9:50

第 2 会場

座長：黒川 峰夫 (東京大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科)

「未治療マントル細胞リンパ腫治療の展望」

演者：丸山 大 (がん研究会有明病院 血液腫瘍科)

共催：アストラゼネカ株式会社

悪性リンパ腫 1

10:00 ~ 10:50

第 2 会場

座長：棟方 理 (国立がん研究センター中央病院 血液腫瘍科)

25. CAR-T 療法後の節外性再発難治性 DLBCL に対してエプコリタマブが奏効した 1 例
中村 康太郎 (藤沢市民病院)

26. 重症筋無力症治療中に合併した難治性 DLBCL に対して CAR-T 細胞療法を施行した 1 例

押見 祥太 (東京科学大学病院 血液内科)

27. CAR-T 細胞療法後の遷延性血球減少に伴う重症軟部組織感染症の 1 例

吉田 努 (慶應義塾大学病院 血液内科)

28. HIV 関連悪性リンパ腫に CAR-T 細胞療法を安全に施行できた 1 例

明石 伊生 (群馬大学医学部附属病院 血液内科)

29. Liso-cel 投与後に血球貪食症候群を伴う HHV-6 脳炎を発症したびまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫

祖田 真奈 (慶應義塾大学医学部 血液内科)

悪性リンパ腫 2

10:50 ~ 11:40

第 2 会場

座長：川島 一郎 (山梨大学 血液・腫瘍内科)

30. 皮膚病変に対しエプコリタマブが奏効した再発びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫
渡部 美和 (武蔵野赤十字病院 血液内科)

31. epcoritamab による治療を行った小腸膀胱瘻・結腸膀胱瘻・小腸皮膚瘻を有した再発難治 DLBCL

山内 千乃 (東京都立多摩北部医療センター 血液内科)

32. Mosunetuzumab が奏効した乳糜胸水を伴う濾胞性リンパ腫

手塚 颯士 (埼玉医科大学総合医療センター 血液内科)

33. 当院における再発・難治 DLBCL/FL に対するエプコリタマブの治療成績

小林 幸聖 (山梨県立中央病院 総合診療科)

34. 中枢神経病変を伴う再発・難治性びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫にエプコリタマブが奏効した 1 例

鈴木 雄大 (東京大学医学部附属病院)

ランチョンセミナー 2 11:50 ~ 12:40

第 2 会場

座長: 高久 智生 (埼玉医科大学 血液内科)

「The Journey Toward Treatment-Free Remission in Chronic Myeloid Leukemia
~Exploring the Potential of Asciminib for TFR~」

演者: 高橋 直人 (秋田大学大学院医学系研究科 血液・腎臓・膠原病内科学講座)

共催: ノバルティスファーマ株式会社

免疫異常 15:10 ~ 16:00

第 2 会場

座長: 守屋 慶一 (新松戸中央総合病院 血液内科)

35. CHOP 療法に抵抗性を示し ACES 療法が奏効した組織球肉腫の 1 例

川真田 夏樹 (昭和医科大学病院医学部内科学部門 血液内科学講座)

36. 集中治療下での治療介入により救命しえた EBV 関連血球貪食性リンパ組織球症

福家 和貴 (聖マリアンナ医科大学 血液・腫瘍内科)

37. 妊娠中に発症した基礎疾患のない血球貪食症候群の症例

田村 慶太 (横浜市立大学附属市民総合医療センター 血液内科)

38. 免疫組織化学やフローサイトメトリー解析が困難な骨髄壊死を呈した芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍

土蔵 太一郎 (東京都立多摩北部医療センター 血液内科)

39. 急性骨髄性白血病治療後に顆粒球コロニー刺激因子関連大型血管炎を来した 1 例

平井 智大 (東京医療センター 血液内科)

ティータイムセミナー 2 16:10 ~ 17:00

第 2 会場

座長: 荒井 俊也 (杏林大学 血液内科)

「再発難治 DLBCL に対する治療戦略と Epcoritamab の使いどころ」

演者: 佐藤 淑 (湘南鎌倉総合病院 血液内科)

共催: ジェンマブ株式会社/アッヴィ合同会社

悪性リンパ腫 3 17:05 ~ 17:55

第 2 会場

座長: 金政 佑典 (がん・感染症センター東京都立駒込病院 腫瘍内科)

40. CAR-T 候補の DLBCL 患者に早期 ACP を実践できた 1 例

本間 俊佑 (日本医科大学付属病院 血液内科)

41. 化学療法後に気管食道瘻を合併した気管分岐部に発生した ALK 陽性 ALCL
青木 淳 (帝京大学医学部附属病院 血液内科)
42. 難治性末梢性 T 細胞リンパ腫に対して pralatrexate 導入後に発症した EBV 関連リンパ増殖性疾患
小川 槇子 (同愛記念病院 血液内科)
43. G-B 療法を間欠的に複数コース行い、感染症が問題となった再発難治性濾胞性リンパ腫の 1 例
半田 達也 (東京警察病院 循環器内科)
44. メトトレキサート関連急性腎障害に対するグルカルピダーゼの使用経験
山下 諒 (国立がん研究センター中央病院 血液腫瘍科)

モーニングセミナー 3 9:00 ~ 9:50

第 3 会場

座長：堺田 恵美子 (千葉大学医学部附属病院 血液内科)

〔講演 1〕「ITP の診断と治療 Up to Date」

〔講演 2〕「第Ⅲ相試験成績と実臨床を踏まえたタバリス治療戦略」

演者：〔講演 1〕石山 みどり (東京女子医科大学 血液内科)

演者：〔講演 2〕皆方 大佑 (自治医科大学内科学講座 血液学部門)

共催：キッセイ薬品工業株式会社

免疫性血小板減少症 1 10:00 ~ 10:50

第 3 会場

座長：吉藤 康太 (東京科学大学 血液内科)

45. 非外傷性両側硬膜外血腫を契機に診断された von Willebrand 病 type1
代田 直輝 (獨協医科大学埼玉医療センター 糖尿病内分泌・血液内科)
46. 出血傾向を契機に診断した多発性骨髄腫に伴う後天性第 X 因子欠乏症
傳田 竜之介 (市立青梅総合医療センター 血液内科)
47. 出産を契機に第 XI 因子欠乏症と診断した症例
加畑 智也 (東京慈恵会医科大学医学部医学科)
48. 中咽頭がんを合併したベセスダ法陰性の後天性凝固第 V 因子欠乏症の 1 例
鈴木 智裕 (豊島病院 血液内科)

免疫性血小板減少症 2 10:50 ~ 11:40

第 3 会場

座長：布施 香子 (新潟大学医歯学総合病院 輸血・再生・細胞治療センター)

49. 透析患者に発症した自己免疫性後天性 von Willebrand 症候群の 1 例
香取 春菜 (国家公務員共済組合連合会虎の門病院 血液内科)

50. 偶発的に出産前に診断し、バイパス療法下で安全に帝王切開術を施行し得た後天性血友病 A

長峰 健太郎 (日本大学医学部附属板橋病院)

51. 水疱性類天疱瘡に合併した後天性血友病 A の 1 例

志賀 彩 (新潟県立中央病院 内科)

52. 古典的ホジキンリンパ腫に対する自家末梢血幹細胞移植後に免疫性血小板減少性紫斑病を発症した 1 例

長谷川 広大 (神奈川県立がんセンター 血液・腫瘍内科)

ランチョンセミナー 3 11:50 ~ 12:40

第 3 会場

座長：桐戸 敬太 (山梨大学医学部 血液・腫瘍内科)

「ITP 治療の現状と今後の展望」

演者：横山 健次 (東海大学医学部附属八王子病院)

共催：旭化成ファーマ株式会社

多発性骨髄腫 15:10 ~ 16:00

第 3 会場

座長：白崎 良輔 (帝京大学医学部内科学講座 血液内科)

53. 特異な形態を呈した原発性形質細胞白血病

関口 恵理華 (NTT 東日本関東病院 血液内科)

54. 多発性骨髄腫加療中に慢性骨髄性白血病を併発し TKI 加療にて両疾患の寛解を得た 1 例

高梨 航輔 (永寿総合病院)

55. アミロイドーシスを合併した高リスク新規診断多発性骨髄腫に対する Isa-VRd 療法

伊藤 駿 (日本大学医学部内科学系 血液膠原病内科)

56. マルチパラメーターフローサイトメトリーが診断に有用であった微小骨髄浸潤を伴う孤発性形質細胞種

小笠原 塔子 (山梨大学医学部附属病院)

57. Frailty と R2-ISS によるリスク層別化を用いた初発骨髄腫患者に対する DRd 療法の検討

堀米 佑一 (北里大学病院 血液内科)

ティータイムセミナー 3 16:10 ~ 17:00

第 3 会場

座長：天野 景裕 (東京医科大学 臨床検査医学分野)

〔講演 1〕「一血友病の最新トピックス—血友病と女性：隠れた問題と必要なケア」

〔講演 2〕「一血友病の最新トピックス—当院での血友病個別化治療と関節症管理の実際～オルツビーオ®の使用経験を踏まえて～」

演者：〔講演 1〕萩原 剛 (荻窪病院 血液凝固科)

演者：〔講演 2〕 下澤 克宜（日本大学医学部小児科学系 小児科学分野）
共催：サノフィ株式会社

感染症

17:05 ~ 17:55

第 3 会場

座長：磯部 優理（横浜南共済病院 血液内科）

58. 免疫グロブリン低下を契機に診断された Good 症候群の 1 例

東 伶美（東京慈恵会医科大学附属病院 腫瘍・血液内科）

59. 急性骨髄性白血病に対する臍帯血移植後早期に発症し、急激に致命的転帰をたどった播種性ムーコル症の 1 例

宇佐 英香（虎の門病院 血液内科）

60. 68 歳で偶発的に診断された先天性無ガンマグロブリン血症の 1 例

MOM THEANWIN（国際医療福祉大学医学部）

61. 臍帯血移植後の BK ウイルス（BKV）による難治性出血性膀胱炎に対してシドフォビルが著効した 1 例

樽井 裕太郎（筑波大学附属病院 血液内科）

62. 激しい腹痛と肝機能障害が皮疹に先行した内臓播種性水痘・帯状疱疹ウイルス感染症の 1 例

白井 亜沙子（国立がん研究センター中央病院 造血幹細胞移植科）

モーニングセミナー 4

9:00 ~ 9:50

第 4 会場

座長：横田 朗（千葉市立青葉病院）

〔講演 1〕「難治性 ITP 治療戦略とウィフガートの治療経験」

〔講演 2〕「免疫性血小板減少症（ITP）の治療戦略～ウィフガートの特徴と可能性～」

演者：〔講演 1〕 大竹 志門（日本大学医学部附属板橋病院 血液・腫瘍内科）

演者：〔講演 2〕 加藤 恒（大阪大学医学部附属病院 輸血・細胞療法部）

共催：アルジェニクスジャパン株式会社

赤血球数 1

10:00 ~ 10:50

第 4 会場

座長：宮澤 悠里（群馬大学医学部附属病院 血液内科）

63. 成人女性に発症した X 連鎖性鉄芽球性貧血の 1 例

森 俊介（がん・感染症センター都立駒込病院 血液内科）

64. 低悪性度成熟 T 細胞腫瘍を背景に発症した後天性赤芽球癆

本橋 沙耶（災害医療センター 血液内科）

65. 壊血病と診断した 2 例

山口 真輝（横浜市立みなと赤十字病院）

66. 骨髄不全型発作性夜間ヘモグロビン尿症に視神経脊髄炎スペクトラム障害を併存した
1例

関口 恵理華 (川崎市立川崎病院 総合内科, NTT 東日本関東病院 血液内科)

67. 抗補体療法中に髄膜炎菌感染症を発症するも救命できた発作性夜間ヘモグロビン尿症
の1例

木島 知紀 (日本医科大学 血液内科)

赤血球数 2

10:50 ~ 11:40

第4会場

座長：中澤 英之 (信州大学 血液・腫瘍内科)

68. Sutimlimab 投与により改善を認めた寒冷凝集素症 (CAD) の1例, 7年の経過

藤岡 功 (柏厚生総合病院)

69. 小児期に遺伝性球状赤血球症と診断後成人期に先行感染を契機とした溶血発作を認め
入院管理を必要とした1例

住田 悠太郎 (NTT 東日本関東病院)

70. 演題取り下げ

71. 甲状腺クリーゼを契機に Evans 症候群が顕在化したバセドウ病

井上 祐輔 (独立行政法人国立病院機構災害医療センター)

72. 混合型自己免疫性溶血性貧血 (AIHA) に免疫性血小板減少症 (ITP) を合併した Evans
症候群

松本 周平 (三井記念病院 血液内科)

ランチョンセミナー 4

11:50 ~ 12:40

第4会場

座長：田代 晴子 (帝京大学医学部 血液内科)

〔講演1〕「スウィーピング型リサイクリング抗体：皮下投与によるPNH治療を実現する抗体
技術」

〔講演2〕「PNH診療の up to date—クロバリマブの自験例をふまえて—」

演者：〔講演1〕 三瓶 全次郎 (中外製薬株式会社 プロジェクトフォース
推進グループ)

演者：〔講演2〕 扇屋 大輔 (東海大学医学部内科学系 血液・腫瘍内科学)

共催：中外製薬株式会社

座長：山本 千裕（自治医科大学 血液科）

73. 重症消化管 AL アミロイドーシスに対する外科的介入および化学療法継続により長期生存が可能となった1例

原田 夏興（東京都立多摩総合医療センター）

74. Richter's transformation でレパトア解析が診断や予後予測に有用であった症例

松本 菜々（日本医科大学 血液内科）

75. ベネトクラクスが有効であった形質細胞様分化を示す Richter 形質転換の1例

黒田 花音（がん研究会有明病院 血液腫瘍科，臨床教育研修センター）

76. BTK 阻害薬を含む治療抵抗性 Richter 形質転換に対して epcoritamab が奏効した1例

竹田 光佑（がん研究会有明病院 血液腫瘍科）

77. 非 IgM 型リンパ形質細胞性リンパ腫に対する BTK 阻害薬

宮本 彩加（独立行政法人国立病院機構災害医療センター）

座長：押川 学（武蔵野赤十字病院）

「CLL 治療における BTK 阻害剤の特徴と使い方」

演者：鈴木 律朗（島根大学医学部内科学講座 血液・腫瘍内科学）

共催：ビーワン・メディシズ合同会社

座長：石山 謙（国立国際医療センター 血液内科）

78. 発作性夜間ヘモグロビン尿症に対する同種造血幹細胞移植後に補体阻害薬を終了できた2例

山口 輝昌（自治医科大学附属病院 血液科）

79. クロバリマブに対する抗薬物抗体による効果消失が疑われた発作性夜間ヘモグロビン尿症の1例

石井 敬大（東京慈恵会医科大学附属柏病院 腫瘍血液内科）

80. 終末補体阻害薬にて効果不十分でイプタコパンにて改善がみられた PNH3 例

野中 建志（都留市立病院 内科）

81. クロバリマブからイプタコパンへ変更し貧血が改善した発作性夜間ヘモグロビン尿症の1例

神山 成那（東海大学医学部医学科）

82. C3 阻害薬使用中の breakthrough hemolysis に C5 阻害薬が有効であった PNH の1例

小林 彩香（帝京大学医学部附属溝口病院 第四内科）

座長：鎌田 浩稔（北里大学医学部 血液内科学）

「Navigating Therapeutic Strategy in PTCL with my vision = 様々な薬剤特性を生かした Single agent の使用法 =」

演者：伊藤 量基（関西医科大学 血液腫瘍内科）

共催：Meiji Seika ファルマ株式会社

座長：末原 泰人（筑波大学医学医療系 血液内科学）

83. 胸背部痛と急速に進行する両下肢麻痺で発症した脊椎原発 B-ALL/LBL の 1 例

木下 航（地域医療機能推進機構東京山手メディカルセンター 血液内科）

84. リツキシマブ単剤と MTX 髄注が著効した中枢神経浸潤を伴う T 細胞/組織球豊富型大細胞型 B 細胞リンパ腫

勝山 友里菜（日本医科大学 血液内科）

85. 濾胞性リンパ腫中枢再発に対する obinutuzumab + bendamustine 療法の治療効果

櫻井 翔大（川崎市立川崎病院 初期研修医）

86. 中枢神経浸潤による視力低下を来した濾胞性リンパ腫の 1 例

西崎 由希子（東京通信病院 血液内科）

87. 形質転換により中枢神経浸潤を来した脾びまん性赤脾髄小型 B 細胞リンパ腫の 1 例

由良 佳子（東海大学医学部附属病院 臨床研修部）

座長：櫻井 政寿（慶應義塾大学医学部 血液内科）

88. 高齢者の血管内大細胞型 B 細胞リンパ腫に対して、減量 Pola-R-CHP 療法が有用であった 1 例

南 優衣（横浜南共済病院 血液内科）

89. 造血不全が先行したびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫（DLBCL）の 1 例

小山 玄太郎（総合病院国保旭中央病院 血液内科）

90. ヘムサイトが診断に寄与した PMBL 様の組織像を呈する DLBCL の 1 例

宮越 歩（筑波大学附属病院 血液内科）

91. 多発性硬化症に対するフィンゴリモド投与中に皮膚びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫を発症した 1 例

MICHAEL WONGSO（国際医療福祉大学医学部）

92. 当院での原発性縦隔大細胞型 B 細胞リンパ腫に対する DA-EPOCH-R 療法の治療成績

大月 俊輔（東京医科大学病院 血液内科）

ランチョンセミナー 5 11:50 ~ 12:40

第 5 会場

座長：安藤 美樹（順天堂大学大学院医学研究科 血液内科学）

「初発 CLL/SLL における課題と新たな治療戦略」

演者：正本 庸介（東京大学医学部附属病院 輸血部）

共催：Johnson & Johnson

ティータイムセミナー 5 16:10 ~ 17:00

第 5 会場

座長：佐々木 純（順天堂大学大学院医学研究科 血液学講座）

「造血器腫瘍診療における二次性免疫不全症のマネジメント」

演者：東梅 友美（がん・感染症センター 都立駒込病院 臨床研究・治験センター兼血液内科）

共催：武田薬品工業株式会社

悪性リンパ腫 6 17:05 ~ 17:55

第 5 会場

座長：佐藤 淑（湘南鎌倉総合病院 血液内科）

93. トシリズマブ使用中にびまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫に形質転換した Castleman 病

松浦 未乃莉（山梨大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科）

94. 巨大後腹膜腫瘍と高カルシウム血症にて発症した DLBCL 合併 non-IgM LPL の 1 例
神田 航汰（同愛記念病院 内科）

95. リンパ節生検非施行例において骨髓生検で診断された古典的ホジキンリンパ腫
鈴木 貴博（日本医科大学付属病院 血液内科）

96. ベネトクラクス、イブルチニブ併用療法が奏効した胃病変を伴う再発マンツル細胞リンパ腫の症例

村上 静郁（虎の門病院 血液内科）

97. 持続する大量胸水に対し人工呼吸器管理と両側胸腔ドレナージを要したマンツル細胞リンパ腫

今井 陽平（東京都立多摩北部医療センター 血液内科）

Closing Remarks 17:55 ~ 18:00

第 1 会場

山口 博樹（日本医科大学 血液内科）

訂 正 履 歴

演題に変更がございましたので、下記の通りプログラムを訂正いたしました。

ページ数	訂正箇所	訂正前	訂正後
p. 10	演題 17	モメロチニブによるブリッジング治療後に臍帯血移植を施行した原発性骨髄線維症の 1 例	演題取り下げ
p. 16	演題 70	ラスブリカーゼによって誘発されたメトヘモグロビン血症の 1 例	演題取り下げ